

上分1号橋

狭隘な地形のもとで架設された長支間のUコンポ橋



施主	徳島県
施工場所	徳島県神山町
完成年	2015年
橋長	53m(全体橋長72m)
形式	PC単純Uコンポ桁橋
全幅	9.2m
桁高	2.6m
製作方法	プレキャストセグメント間仕切り板方式(11seg)
主桁幅	3.0m
主桁本数	2本
主桁重量	約 320 ton/桁
架設工法	スパン・バイ・スパン工法
参考文献	プレストレストコンクリート 2016年 No.3 プレストレストコンクリートシンポジウム 2015年 10月

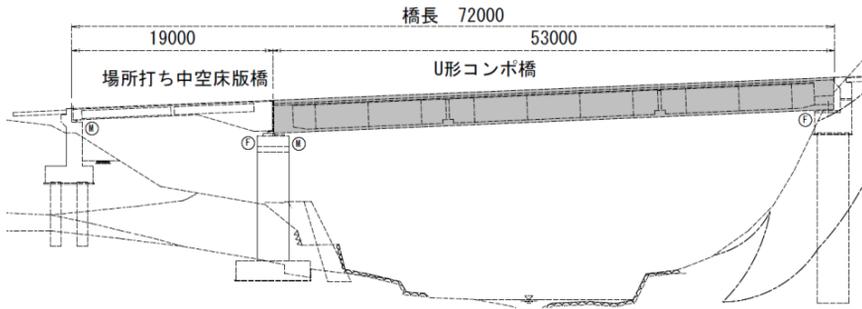
ポストテンションT桁橋は、長さが50mを超えると施工時の座屈の恐れが高まり適用が難しくなる。本橋は支間が約52m程度であるため、座屈に対して有効なU形断面が採用された。

1本の桁重量が約320tであるため、2連式の架設桁による抱き込み架設方法が採られた。現地の条件から架設地点後方で長さ53mのプレキャスト桁の組み立てができなかったため、個別のセグメントを架設桁より吊り下げながら組み立てるスパン・バイ・スパン工法が採用された。

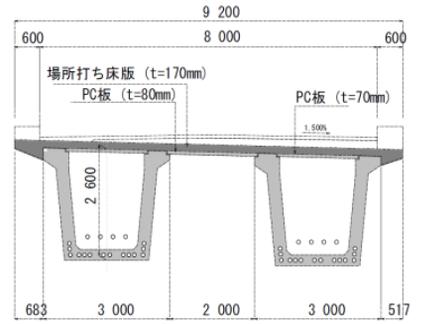
セグメントの数は主桁1本あたり11セグメントであり、桁端のセグメントに関しては運搬重量の制限から支点横桁部分のコンクリートは現場にて打設された。

PC鋼材は内外併用方式であり、外ケーブルは床版コンクリートの打設後に緊張された。

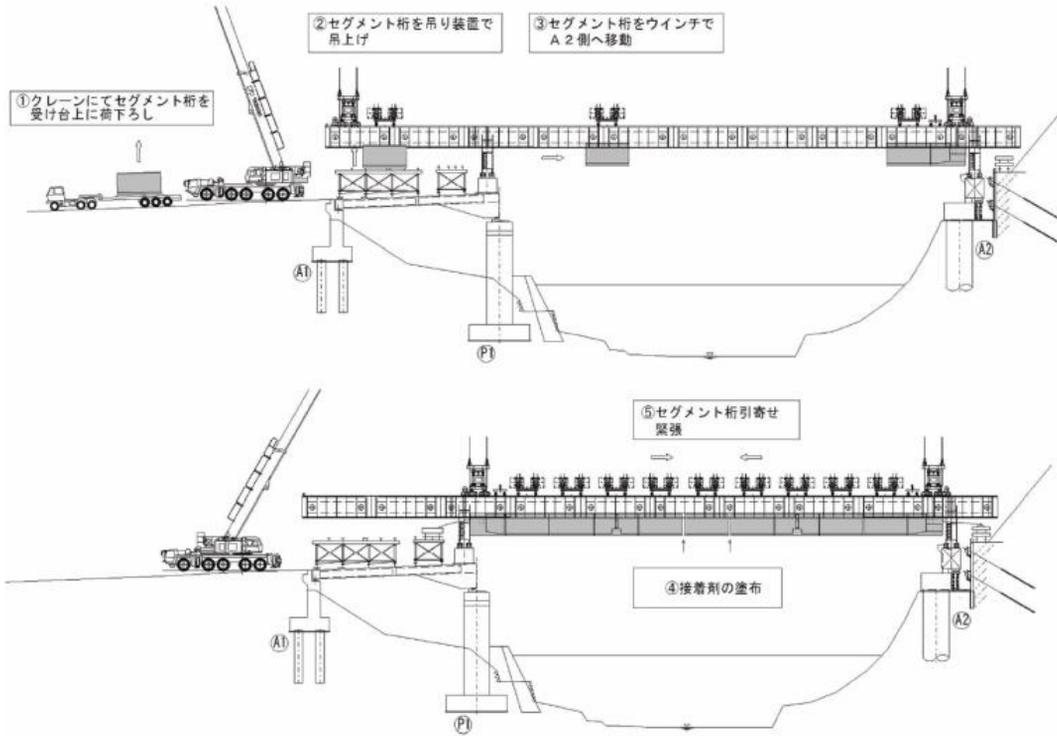
一般図



断面図



スパン・バイ・スパン工法による架設要領



二組架設桁による横取り架設



架設状況

